

登録コード	A3596476	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究Ⅲ					担当教員	上村 佳奈	
英文授業名	Thesis ResearchⅢ							
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生（研究室配属後の学生対象）	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	卒業論文のための計画、データ収集、解析、執筆を通し、森林気象害に関する研究能力を習得する。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	卒業論文のための計画、データ収集、解析、執筆を通し、森林気象害に関する研究能力を習得する。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	卒業論文のための計画、データ収集、解析、執筆を通し、森林気象害に関する研究能力を習得する。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	卒業論文のための計画、データ収集、解析、執筆を通し、森林気象害に関する研究能力を習得する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	卒業研究の進捗状況、既存研究についてのレビューについてレポートの提出と発表を行う。							
(5)授業計画	後ほど提示する。 その他：学期最後に授業アンケートを実施します。							
(6)自主学習の指針	卒業研究のためのデータ収集、解析、既存研究のレビュー、卒業論文の執筆							
(7)成績評価の基準	出席と発表、卒業論文							
(8)事前事後学習の内容	論文執筆、レビューや発表準備、発表時に得たコメントについて考える							
(9)テストやレポートの予定	発表の資料作成							
(10)成績評価の方法	出席と発表、卒業論文から評価							
(11)質問、相談への対応および連絡先	メールまたは講義後に対応							
(12)履修上の注意	本分野は日本語の文献が少ないため、英語文献を多く読むことになります。また、気象や生態、被害データなどを定量的に評価するため。GIS、数理モデル、力学、プログラミングに興味を保つ必要があります。							
【教科書】	特に使用しない							
【参考書】	特に使用しない							